

事務局長 福地 一



1 はじめに

AIAA 衛星通信フォーラム(JFSC)の2009年度の総会が以下の日時、会場で開催された。

- (1) 開催日時:平成 21年 5月 15日(金) 15:00~17:00
- (2) 開催場所:首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス
- (3) 議事の事項
 - ① 2008 年度活動報告
 - ② 2008 年度会計報告及び監査報告
 - ③ AIAA TCCS 出席報告
 - ④ ICSCC 開催予定
 - ⑤ 2009 年度活動計画及び予算計画の審議
 - ⑥ 2009 年度役員体制の確認

2 総会審議等の概要

堀川 JFSC 会長及び永井副会長からのご挨拶のあと、総会成立の確認が行われ、会則第 9 条の年次総会 6 項の規定に従い、役員 2/3 以上の出席(役員メンバー 11 名のうち出席者 8 名、委任状提出者 1 名)を持って総会が成立することを確認した。

以下、主な審議内容について述べる。

- (1) 2008年度活動報告並びに収支報告



① 活動報告

運営委員会は3回開催(うち1回はメール審議)され、ICSCG2008(サンディエゴ)開催時に開催される TCCS への対処方針、総会開催に関する審議等を実施してきた。この運営委員会で、ICSCC の開催場所(4年に1回アジアで開催され、次回のアジア開催は2011年)に関し、積極的に日本で引き受ける方針を決めた。この方針は、6月9日のAIAA-TCCS(サンディエゴ)でも歓迎され了承された。

協賛に関し、11月6日～7日のJC-SAT 2008、WSANE 2008に協賛した。また、JC-SAT、WSANE について、鈴木編集特別顧問から、いずれも盛会に実施できた旨の報告が行われた。

② AIAA Space Japan Review(SJR) の発行

若菜 SJR 編集委員長から AIAA Space Japan Review(SJR)編集委員会活動について報告が行われた。SJR は昨年度と同様の頻度で、2か月に1回、日本語と英語で発行し、5刊を発行した。そのWEBでのアクセス数は37169アクセスで、月平均約500アクセスである。

③ 2008年度収支報告および監査報告

浜本財務委員長から収支報告、飯塚監査委員から監査報告が行われ、いずれの報告も承認された。

(2) ICSCC 開催予定と ICSCG2011 の企画

本総会の2週間後に英国エジンバラでICSCG2009が開催されるが、NICTからの参加が予定されている。この時開催される TCCS には、NICT 有本氏に出席をしていただき審議に参加してもらうこととした。

今後の開催は、2010年に米国、2011年に日本の予定である。2011年の日本開催については、以下の意見等が述べられた。

- ・JFSC 単独開催は難しく、他の関連機関からの予算的なサポートが必要である。
- ・韓国は協力的であるので、韓国に協力を仰ぐのが良い。すでに、ETRI のプログラム委員にも声はかけており、参加を募る予定である。
- ・ICSCC は規模が小さくなったのでお金をかけないでやる方が良い。
- ・2011年にやるのであれば2年前から準備する必要がある。

(3) 2009 年度活動計画案及び予算案

これまでと同様に、SJR の発行、関連研究集会への協賛など 2009 年度の活動計画案について説明が行われ、了承された。特に、2009 年度は、ICSCC2011 の日本開催に向けての準備活動を進めることとした。

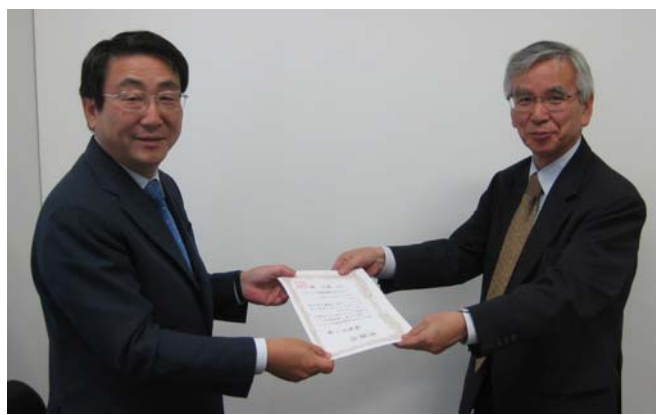
予算案は、例年通りの、SJR 編集発行経費等に加え、ICSCC2011 の会場調査・企画の外注経費を追加している。この予算案についても、了承された。

(4) 役員及び運営委員の交代

2009 年度の新役員について所属機関の都合による交代等が提案され了承された。

(5) その他審議

JFSC 設立以来、長年監査委員を務め、今期で退任する飯塚監査委員から挨拶を頂いただき、これまでの貢献に対して JFSC からの感謝状を堀川会長から贈呈した。また、交代する松藤新監査委員からも挨拶を頂いた。若菜 SJR 編集委員長から、SJR の Web マガジンの編集をお願いしている武藤真美様に感謝状を贈呈する旨の報告があった。



▲堀川会長から飯塚監査委員への感謝状授与

最後に、全ての議題について承認がなされたことを確認し、2009 年度 JFSC 総会を閉会した。